

子どもと女性の  
健康相談室

58



福島医大ふくしま子ども・  
女性医療支援センター特任教授  
神保 正利氏

助産師の仕事

皆さんは助産師という  
職業を御存知ですか？  
助産師はかつて産婆(さんば)と呼ばれ、妊娠から出産後まで世話をする「お産の専門家」として人々から頼りにされていました。

三十年代に入り、それまで約九割を占めていた自宅での出産が急速に減少し、替わって診療所や病院で出産する人が増えていきました。  
廃業する助産所も多く、助産婦は次第に診療所や病院に勤務するようになり、その後、二〇〇二(平成十四)年に

四年はかかります。  
近年、助産師は毎年千人前後のペースで増加しています。二〇一六(平成二十八)年三月末の時点で三万九千六百十三人が就業しており、「表1」のように九割以上の助産師は病院や診療所、助産所で働いています。  
助産師の仕事と言え

お産を助け生活指導

第二次世界大戦が終わった一九四八(昭和二十三年)に産婆は職業的な名称として助産婦に改められ、教育制度も変更されて助産婦の資格を得るのに看護婦免許の取得が前提となりました。昭和



ば、お産を助けて赤ちゃんを取り上げるイメージが強いですが、それ以外に妊娠が分かってから出産までの生活や健康についての指導やサポート、出産後の母乳や育児指導、退院後の生活指導など、多岐にわたります。  
仕事の内容は「表2」の通りです。

助産師の新たな業務として助産師が妊婦健康診査を行う助産師外来が注目されており、助産師外来を開設する医療機関が増えています。次回は助産師外来についてお話しします。

【表1】 助産師の就業場所

(平成28年3月末時点)

就業場所	人数(人)
病院	23,877 (60.3%)
診療所	10,625 (26.8%)
助産所	2,004 (5.1%)
教育機関・研究機関	1,501 (3.8%)
都道府県・市区町村	1,074 (2.7%)
保健所	311 (0.8%)
事業所	36 (0.1%)
社会福祉施設	20 (0.1%)
その他	165 (0.4%)
総数	39,613 (100%)

「平成31年/令和元年」看護関係統計資料集より

【表2】 助産師の主な仕事

- 〈出産前〉
- ・妊婦健康診査による母親と胎児の健康チェック
  - ・食事や運動に関する生活指導と健康指導
  - ・母親や父親になる心構えを伝える産前教育(母親学級、両親学級)

- 〈出産時〉
- ・お産を助けて赤ちゃんを取り上げる分娩介助

- 〈出産後〉
- ・出産後の母親の体調管理
  - ・授乳や沐浴などの育児指導
  - ・乳児の保健指導